

医療法人 啓明会

訪問看護ステーション “かぐや姫” 事業運営規程

(事業の目的)

- 第1条 医療法人啓明会が設置する訪問看護ステーション “かぐや姫” (以下「事業所」という。)において実施する指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】事業 (以下「事業」という。)の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の円滑な運営管理を図ると共に、利用者の意思および人格を尊重し、要介護状態(介護予防にあっては要支援状態)の利用者の立場に立った適切な指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の提供を確保する事を目的とする。

(運営の方針：介護)

- 第2条 事業所が実施する事業は、利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、その療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図るものとする。
- 2 利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止に資するよう、その療養上の目標を設定し、計画的に行うものとする。
 - 3 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。
 - 4 事業に当たっては、利用者の所在する市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。
 - 5 指定訪問看護の提供の終了に際しては、利用者又はその家族に対して適切な指導を行うとともに、主治医及び居宅介護支援事業者へ情報の提供を行うものとする。
 - 6 前5項のほか、「豊中市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」(平成24年豊中市条例第69号。以下、豊中市指定居宅サービス等基準条例という。)に定める内容を遵守し、事業を実施するものとする。

(運営の方針：介護予防)

- 第3条 事業所が実施する事業は、利用者が要支援状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、その療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図るものとする。
- 2 利用者の介護予防に資するよう、その目標を設定し、計画的に行うものとする。
 - 3 事業の実施に当たっては、利用者の心身機能、環境状況等を把握し、介護保険以外の代替サービスを利用する等効率性・柔軟性を考慮した上で、利用者の意思及び人格を尊重しながら、利用者のできることは利用者が行うことを基本としたサービス提供に努めるものとする。

- 4 事業の実施に当たっては、利用者の所在する市町村、居宅介護支援事業者、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、他の居宅サービス事業者、保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。
- 5 指定介護予防訪問看護の提供の終了に際しては、利用者又はその家族に対して適切な指導を行うとともに、主治医及び地域包括支援センターへ情報の提供を行うものとする。
- 6 前5項のほか、「豊中市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例」（平成24年豊中市条例第73号。以下、豊中市指定介護予防サービス等基準条例という。）に定める内容を遵守し、事業を実施するものとする。

（運営方針：医療）

- 第4条 利用者の心身の特性をふまえて、利用者の療養に妥当適切に行い、日常生活の充実に資するようにするとともに慢性かつ画一的なものとならないよう療養上の目標を設定し計画的に行うものとする。
- 2 自らその提供する看護の質の評価を行い、常にその改善を図らなければならない。
 - 3 主治の医師との密接な連携及び訪問看護計画に基づき、利用者の心身の機能の維持回復を図るよう妥当適切に行う。
 - 4 懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又はその家族に対し、療養上必要な事項について、理解しやすいように指導又は説明を行う。
 - 5 医学の進歩に対応し、適切な看護の技術をもってこれを行う。
 - 6 常に利用者の病状、心身の状況及びその置かれている環境の的確な把握に努め利用者又はその家族に対し、適切な指導を行う。
 - 7 特殊な看護等については、これを行ってはならない。

（事業所の名称等）

第5条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 医療法人啓明会 訪問看護ステーション “かぐや姫”
- (2) 所在地 大阪府豊中市庄内栄町1丁目8-2 KITAビル

（従業者の職種、員数及び職務の内容）

第6条 事業所における従業者の職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。

- (1) 管理者 看護師 1名（常勤職員 看護師と兼務）

管理者は、主治の医師の指示に基づき適切な指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】が行われるよう必要な管理及び従業者の管理を一元的に行うとともに、法令等において規定されている指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の実施に関し、事業所の従業者に対し遵守すべき事項についての指揮命令を行う。

- (2) 看護職員 看護師 4名 (常勤 3名 非常勤 1名) 常勤1名は管理者と兼務
リハビリ職員 理学療法士2名 (常勤 2名)
看護・リハビリ職員は、主治医の指示による指定訪問看護 [指定介護予防訪問看護]
計画に基づき指定訪問看護 [指定介護予防訪問看護] に当たる。
- (3) 事務職員 1名 (常勤 1名)
必要な事務を行う。

(営業日及び営業時間)

第7条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日・サービス提供日 月曜日から土曜日までとする。
但し、祝日及び12月31日～1月3日(日、祝日を除く3日間)
は休みとし、事前に利用者への報告を行うものとする。
12月31日～1月3日に日曜日が入る場合、前後1日(12月30日もしくは、1月
4日)どちらかを休みとする。
- (2) 営業時間・サービス提供時間 午前9時から午後6時までとする。

(訪問看護の内容)

第8条 事業所で行う指定訪問看護 [指定介護予防訪問看護] は、利用者の心身機能の維持回復
を図るよう妥当適切に行う事を目的として、次に掲げる事業を行う。

- 2 訪問看護計画書・介護予防訪問看護計画書の作成及び利用者又はその家族への説明
利用者の希望、主治医の指示及び心身の状況を踏まえて、療養上の目標、当該目標を達
成する為の具体的なサービス内容を記載

(サービス内容の例)

- ① 病状・障害の観察
 - ② 清拭・洗髪による清潔の保持
 - ③ 食事及び排泄等日常生活の世話
 - ④ 床ずれの予防・処置
 - ⑤ リハビリテーション
 - ⑥ ターミナルケア
 - ⑦ 認知症患者の看護
 - ⑧ 療養生活や介護方法の指導
 - ⑨ カテーテル等の管理
 - ⑩ その他医師の指示による医療処置
- 3 訪問看護計画書・介護予防訪問看護計画書に基づく 指定訪問看護 [指定介護予防訪問
看護]
- 4 訪問看護報告書・介護予防訪問看護報告書の作成

(利用料等)

第9条 指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]を提供した場合の利用料の額は、介護保険の場合、介護報酬告示上の額とし、そのサービスが法定代理受領サービスであるときは、利用料のうち各利用者の負担割合に応じた額を受けるものとする。

なお、法定代理受領以外の利用料については、「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準」(平成12年2月10日厚生省告示第19号)・「指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準」(平成18年3月14日厚生労働省告示第127号)によるものとする。

2 医療保険の場合、基本利用料として健康保険法第88条第4項に規定する厚生労働大臣の定めるところにより算定した費用の額より厚生労働大臣が定める算定方法により訪問看護療養費として支給される額に相当する額を控除した額の支払いを利用者から受けるものとする。

3 訪問の交通費は、その実費を徴収する。(医療保険のみ)

医療保険訪問看護 事業所から3Km未満 往復 100円

事業所から3Km以上 5Km未満 往復 200円

事業所から5Km以上 往復 300円

※上記金額に消費税は含まれていません。ご請求時消費税を徴収させていただきます。

4 前3項の利用料等の支払いを受けた時は、利用者又はその家族に対し、利用料とその他の利用料(個別の費用ごとに区分)について記載した領収証を交付する。

5 指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の提供開始に際し、あらかじめ、利用者又はその家族に対し、利用料並びにその他の利用料の内容及び金額に関し事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名(記名押印)を受けることとする。

6 法定代理受領サービスに該当しない指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]に係る利用料の支払いを受けたときは、提供した指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]の内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を利用者に対して交付するものとする。

(通常の事業実施地域)

第10条 通常の事業実施地域は、豊中市全域

(緊急時等における対応方法)

- 第11条 指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の提供を行っている時に利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、必要に応じて臨機応変な手当てを行うとともに、速やかに主治医に連絡を行い指示を求める等の必要な措置を講じるとともに管理者に報告する。主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講じるものとする。
- 2 利用者に対する指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の提供により事故が発生した場合は、市町村、当該利用者の家族、当該利用者に係る居宅支援事業者等に連絡するとともに、必要な措置を講じるものとする。
- 3 利用者に対する指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の提供により賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行うものとする。

(衛生管理等)

- 第12条 看護師等の清潔の保持及び健康状態の管理を行うとともに、事業所の設備及び備品等の衛生的な管理に努めるものとする。

(苦情処理)

- 第13条 指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】の提供に係る利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要な措置を講ずるものとする。
- 2 事業所は、提供した指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】に関し、介護保険法第23条の規定により市町村が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は当該市町村の職員からの質問若しくは照会に応じ、及び市町村が行う調査に協力するとともに、市町村からの指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。
- 3 事業所は、提供した指定訪問看護【指定介護予防訪問看護】に係る利用者からの苦情に関して国民健康保険団体連合会の調査に協力するとともに、国民健康保険団体連合会から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。

(虐待防止に関する事項)

- 第14条 事業者は、利用者の人権の擁護・虐待等の防止のため次の措置を講ずるものとする。
- (1) 虐待を防止する為の従業者に対する研修の実施
- (2) 利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
- (3) その他虐待防止に必要な措置
- 2 事業所は、サービス中に、当該事業所従業者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかにこれを市町村に通報するものとする。

(身体的拘束等の原則禁止)

- 第15条 事業所は、サービス提供にあたっては、利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為（以下「身体拘束等」という。）を行ってはならない。
- 2 事業所はやむを得ず前項の身体拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由など必要な事項を記載することとする。

(個人情報保護)

- 第16条 事業所は、利用者の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイダンス」を遵守し適切な取り扱いに努めるものとする。
- 2 事業者が得た利用者の個人情報については、事業者での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者又はその代理人の了解を得るものとする。

(業務継続計画の策定)

- 第17条 事業者は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービス提供を継続的に実施するための、および非常時の体制での早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」BCPと言う。）を策定し、当該業務継続計画に従い、必要な措置を講じなければならない。
- 2 事業者は、従業員に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的の実施しなければならない。
- 3 事業者は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うものとする。

(ハラスメントの防止・対応)

- 第18条 事業所は、適切なサービスの提供を確保する観点から、職場における各種ハラスメントを防止するために必要な措置を講じる。
- 2 事業所は、従事者が利用者、利用者の家族などからハラスメントを受け、相当と認められる場合や利用者、利用者の家族等が事業所の指示に従わない場合はサービスの提供を制限することができる。

(その他運営に関する留意事項)

第19条 事業所の従業者に、その同居の家族である利用者に対する指定訪問看護〔指定介護予防訪問看護〕の提供をさせないものとする。

2 事業所は、指定訪問看護[指定介護予防訪問看護]に関する豊中市指定居宅サービス等基準条例及び豊中市指定介護予防サービス等基準条例で定める記録を整備し、その完結の日から5年間保存するものとする。

3 この規程に定める事項の外、運営に関する重要事項は医療法人啓明会と当事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附則 この規程は平成15年3月1日より施行する。
この規程は平成15年4月7日より施行する。
この規程は平成17年7月1日より施行する。
この規程は平成18年9月4日より施行する。
この規程は平成18年12月16日より施行する。
この規程は平成21年1月16日より施行する。
この規程は平成21年11月16日より施行する。
この規程は平成22年2月16日より施行する。
この規程は平成23年1月6日より施行する。
この規程は平成23年3月22日より施行する。
この規程は平成23年5月24日より施行する。
この規程は平成24年4月1日より施行する。
この規程は平成25年3月1日より施行する。
この規程は平成25年3月23日より施行する。
この規程は平成25年4月1日より施行する。
この規程は平成25年7月6日より施行する。
この規程は平成25年11月8日より施行する。
この規程は平成26年3月8日より施行する。
この規程は平成26年4月1日より施行する。
この規程は平成26年11月13日より施行する。
この規程は平成30年4月1日より施行する。
この規程は平成31年3月15日より施行する。
この規程は令和4年4月1日より施行する
この規程は令和6年5月1日より施行する
この規程は令和7年8月1日より施行する